

尾道薪能番組

六時

あいさつ
仕舞

玄象
羽衣きり

吉田 学史
吉田 和史

井上裕之真
吉田 潔司
橋本 光史

能「箴」への誘い

狂言

吉田 潔司

仏師

茂山 良暢

新島 健人
後見 岡村 宏懇

仕舞

杜若きり
春日龍神

吉田 潔司
井上 裕久

井上裕之真
吉浪 壽晃
浅井 通昭

火入式

能

箴

吉田 篤史

福王 知登

石井 保彦
曾和 尚靖

左鴻 泰弘

間山口 耕道

橋本 光史
橋本擴三郎

山中 雅志
深野 貴彦
浅井 通昭

吉浪 壽晃
井上 裕久
勝部 延和

終了 八時過

【能「箴」あらすじ】

西国方にいる僧(ワキ)が都見物に出て、須磨の浦生田の川に着くと、若き里人(前シテ)が現れる。そこで、梅の木を見て、これは名木かとたずねると、昔 源平の時代に梶原源太景季がこの梅花一枝を折り、箴にさして笠印とし名を挙げたので、この木を箴の梅と称する話を語り、昔の一の谷の様子を語る。その後、実は自分がその景季の幽霊だと名乗って消え失せる。(中入)僧が花の木陰で寝ていると、若武者姿の霊(後シテ)が現れ、修羅道の苦しみ、戦いの様子を語った後、僧に弔いを頼み、消え失せる。

吉田 潔司

シテ方 観世流準職分
重要無形文化財
能楽(総合指定)保持者
1942(昭和17)年生まれ



- ・幼少より京都にて故井上嘉介師、父 吉田佳弘に師事。6歳にて初舞台。同志社大学在学中に井上師の内弟子として修行。
- ・昭和47年に独立。石橋・乱・道成寺・砧・求塚・清経(恋の音取)・正尊を開曲。
- ・吉田嘉謡社二代目社主として、平成4年より京都で「花の能」を公演するなどの演能活動の一方で、京都各所・尾道・福山・鞆に稽古場を持ち、謡曲・仕舞の指導を行っている。

吉田 篤史

シテ方 観世流準職分
1974(昭和49)年生まれ



- ・幼少より京都にて故井上嘉介師、井上裕久師、祖父 吉田佳弘、父 潔司に師事。3歳「鞍馬天狗」花見にて初舞台。同志社香里中・高へ進学、同志社大学在学中に井上師の内弟子として修行。
- ・平成13年に準職分を取得し独立。石橋・乱・千歳・道成寺を開曲。
- ・吉田嘉謡社副社主として、平成4年より京都で「花の能」を公演するなどの演能活動の一方で、京都各所・岐阜各所・東京・名古屋・大阪・福山・広島に稽古場を持ち謡曲・仕舞の指導を行っている。
- ・平成23年に地元 向日市にて、ひまわり栄誉賞を授賞。

吉田後援会ホームページ <http://www.k5.dion.ne.jp/~hana-noh/>



真言宗泉涌寺派大本山 浄土寺(尾道市東久保町20-28) JR尾道駅よりバスで約6分
※会場には駐車場がございませんので、公共交通機関をご利用下さい。

山陽本線「尾道駅」から東行きバスで「浄土寺」下で下車。



広島市内よりバスツアーもごさいます。詳しくは、082-885-0070(メデル)にお問い合わせ下さい。